

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	音楽	学年	2	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学生の音楽2・3上	出版社名	教育芸術社
------	------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	器楽：アルトリコーダー(通年)	・アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎		<p style="text-align: center;">授業の概要</p> <p>音楽1で学んだ基礎的な技能を踏まえ、歌唱、鑑賞活動を行います。また、年間を通してアルトリコーダーを演奏します。歌唱では、混声三部合唱に取り組み、各声部の役割の大切さに気付きながら、表現することの素晴らしさを味わいます。</p> <p style="text-align: center;">学習の到達目標</p> <p>・発声や発音、ハーモニーを意識し、楽曲に応じた歌唱表現をすることができる。 ・アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。 ・言葉や音階などの特徴を生かして、表現を工夫して旋律をつくることができる。 ・楽曲の歴史的背景を理解し、情景、表現要素(速度、強弱など)や構成要素(音域、楽器の音色、リズムなど)を聴き取り、自分の言葉で表現することができる。</p>
		歌唱：歌い合わせる喜び	○「夢の世界を」 ・基礎的な歌唱技能の確認		◎		
	5	歌唱：歌詞の内容を味わって	○「フーガ短調」				
		中間考査(5/14～5/15)	・各声部のかか回りの聴取 ・パイプオルガンの理解と作曲や楽曲の背景の理解	○		◎	
	6	歌唱：歌詞の内容を味わって	○「翼をください」 ・歌詞の理解、譜記号と声部の役割の確認	○	◎		
		期末考査3年(6/26～7/2) 期末考査2年(6/27～7/2)		○	◎	◎	
	7	歌唱：日本の美しい情景を表す歌	○「荒城の月」 ・歌詞が表す情景の表現と、拍子、速度、形式を生かした歌唱	○	◎		
夏季休業日(7/20～8/25)							
二学期	9	創作：言葉を生かした旋律作り	○一学期末より引き続き「荒城の月」 ○「マイメロディ」 ・俳句に音を付けて、作曲活動を行う	○	◎		<p style="text-align: center;">評価の観点</p> <p style="text-align: center;">知識・技能</p> <p>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p> <p style="text-align: center;">思考・判断・表現</p> <p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質な雰囲気を感じながら、知覚したこと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持って、音楽を評価しながらよさや楽しさを味わって聞いたりしている。</p> <p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
		歌唱：曲想の変化や音楽の構成を生かして	○「夏の日の贈りもの」 ・曲想の変化を味わい、ふさわしい表現を工夫 ・音楽の構成を理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫 ・主旋律の声部を確かめ、強弱の設定を生かした歌唱	○	◎		
	10	中間考査(10/10～10/11)					
	11	鑑賞：総合芸術の魅力「オペラ」	○鑑賞曲 オペラ「アイダ」 ・物語の内容や台詞に伴う音楽表現の豊かさの聴取 ・人物の役柄と声の種類や音域との関わりを理解 ・音楽と他の芸術との関わりを理解	○		◎	
		期末考査3年(11/27～12/3) 期末考査2年(11/28～12/3)		○	◎	◎	
12	歌唱：歌い継ごう日本の歌	○「やさしさに包まれたなら」 ・声部の関わり合いを理解する ・曲にふさわしい表現の工夫	○	◎			
	冬季休業日(12/21～1/7)						
三学期	1	鑑賞：日本の伝統的な声の特徴	○鑑賞曲 歌舞伎「勅進帳」 ・物語の内容を理解し、音楽と舞台との関わりによる表現を味わう ・歌舞伎音楽の特徴や役割の理解	○		◎	<p style="text-align: center;">評価方法</p> <p>学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。また、「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「定期考査」、「提出物(創作や鑑賞)」でも評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法で評定します。</p> <p style="text-align: center;">備考</p>
		歌唱：響き合うよこびを味わおう	○「大切なもの」 ・パート別練習及び全体練習 ・主旋律と声部の役割を理解し、速度や強弱の変化を楽しみながら合唱	○	◎		
	2	学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査2年(2/25～2/28)		○	◎	◎	
	3		○1年間のまとめ	○	◎	◎	

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	音楽	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	中学生の音楽2・3下	出版社名	教育芸術社
------	------------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	器楽：アルトリコーダー(通年)	・アルトリコーダーの基本的奏法、アンサンブル	○	◎		授業の概要 一、二年生で学習した内容をもとにさらに学習内容に広がりをもたせます。 歌唱では、イタリア語の歌曲や、合唱曲を歌います。器楽では、アルトリコーダーの練習に加えて、箏の基本的な奏法を学び、鑑賞では、形式や演奏形態を理解しながら楽曲への理解を深めます。 学習の到達目標 ・楽曲の演奏に相当である表現を楽譜から読み取ることができる。 ・記号の読みと意味を理解し、演奏に必要な演奏技術を身に付けることができる。 ・音楽材の特徴を理解し、自分のイメージや音楽を形づくっている要素とかわらせながら、それらを生かして音楽をつくることできる。 ・楽曲の形式と背景を理解し、美しさを感じながら鑑賞し、自分の言葉で表現することができる。
		歌唱：日本の美しい情景を表す歌	○「花」 ・歌詞を味わい、情景を感じ取った歌唱 ・言葉と旋律の関わりや伴奏の効果を感じ取り表現を工夫		◎		
	5	中間考査(5/14～5/15)					
		鑑賞：音楽の構成を理解して	○鑑賞曲「ボレロ」 ・繰り返しの効果と変化する音色や組み合わせによる響きの聴取		◎		
	6	歌唱：歌い合わせ、聴き深める喜び	○「時を越えて」 ・主旋律の表れ方を確認し、曲想を味わいながら表現を工夫		◎		
		期末考査3年(6/26～7/2) 期末考査2年(6/27～7/2)			◎	◎	
	7	創作：言葉を生かした旋律作り	○マイメロディ ・和音に含まれる音から旋律を作り創作を行う		◎	○	
夏季	8	夏季休業日(7/20～8/25)					
二学期	9	歌唱：曲想の変化を生かして	○「帰れソレントへ」 ・速さ、強弱の設定と転調による曲想の変化を味わいながら歌唱 ・正確なイタリア詞唱と曲種に応じた歌い方を工夫		◎		評価の観点 知識・技能 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 思考・判断・表現 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質な雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図を持って、音楽を評価しながらよさや楽しさを味わって聞いたりしている。 主体的に学習に取り組む態度 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		鑑賞：多彩な音楽を聴こう	○ポピュラー音楽(ロック・ジャズ・ボサノヴァ) ・リズムや音色、旋律、音の重なりを聴取し、世界の音楽を感じる			◎	
	10	中間考査(10/10～10/11)	○世界の諸民族の音楽(朝鮮半島・アラブ諸国・インド) ・世界各国の諸民族の音楽や楽器を聴取し、音色やリズム、表現を味わう			◎	
	11	歌唱：混声合唱の楽しみ	○「大地讃頌」 ・歌詞の内容を味わった歌唱 ・声部の役割を理解して表現を工夫		◎		
	12	期末考査3年(11/27～12/3) 期末考査2年(11/28～12/3)			◎	◎	
		○考査前に引き続き「大地讃頌」			◎	◎	
冬季		冬季休業日(12/21～1/7)	冬季休業日(12/21～1/7)				
三学期	1	鑑賞：日本の伝統芸術の魅力 -能-	○鑑賞曲「敦盛」 ・面や衣装、舞台表現の特徴などの理解 ・物語の内容の理解、声の出し方や楽器との合わせ方に着目した鑑賞		◎		評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。また、「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト(歌唱・器楽)」、「定期考査」、「提出物(創作や鑑賞)」でも評価します。学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法で評定します。
		歌唱：混声合唱の楽しみ2	○「旅立ちの日に」 ・声部の役割や、速度や強弱の変化を生かした歌唱		◎		
	2	学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査2年(2/25～2/28)	・曲想の変化を感じ取って表現を工夫		◎	◎	
	3		○「さくら さくら」 ・箏の特徴、平調子について知り、基本的奏法を習得		◎		
備 考							

令和6年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	音楽	学年	4 年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	----	----	-----	----	----	-----	---	----

教科書名	MOUSA 1	出版社名	教育芸術社
------	---------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	◎	◎	○	<p>授業の概要</p> <p>基礎的な技能を踏まえ、歌唱、器楽、鑑賞活動を行います。歌唱では、さまざまな国の歌に親しみます。また、正確な音程や響きの統一により美しいハーモニーづくりを目指します。器楽ではギター、篠笛の基本的な奏法を学びます。</p> <p>学習の到達目標</p> <p>・ 楽曲に合った豊かな発声法や響かせ方を工夫し、言葉と音楽の結びつきに注意した表現をすることができる。</p> <p>・ ギター、篠笛の基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを楽しむことができる。</p> <p>・ 音素材の特徴を生かし、イメージをもって音楽をつくることことができる。</p> <p>・ 音楽の面白さやよさを感じ取り、根拠を持って自分なりに批評することができる。</p>
		歌唱：正しい姿勢や呼吸法、発声法を身に付けよう	○ 「Ave Maria」、「Lemon」「負けないで」 ・ 基礎的な歌唱技能の確認				
	鑑賞：古典派の音楽を知ろう	○ モーツァルトの生涯と作品 ・ 古典派音楽の特徴と作品の理解	○		◎		
	5	中間考査(5/14～5/17)	○ 「Heidenroslein」 ・ 歌詞の内容の理解	◎	◎	○	
		歌唱：ドイツ語の歌に親しもう					
	6	器楽：ギターに挑戦1(単旋律)	○ エーデルワイス ・ ギターの基本的な奏法と単旋律の演奏	◎	◎	○	
		鑑賞：ミュージカルに親しもう	○ 「サウンドオブミュージック」 ・ ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	○		◎	
期末考査(6/26～7/2)			○		◎		
7	歌唱：ギターに挑戦2(コード)	○ 「カントリーロード」 ・ コードの確認と弾き歌い	◎	◎	○		
	夏季休業日(7/20～8/25)						
二 学 期	9	歌唱：イタリア語の歌に親しもう	○ 「Caro mio ben」、「O sole mio」 ・ 歌詞の内容を理解し、表現を深めた歌唱 ・ 用語や記号を表現に生かした歌唱	◎	◎	○	<p>評価の観点</p> <p>知識・技能</p> <p>・ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。</p> <p>・ 創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持って、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
		歌唱：ミュージカルに親しもう	○ 「キャッツ」より「Memory」 ・ ミュージカルについての理解を深め、情景をイメージして表現を工夫	◎		◎	
	中間考査5年(10/1～10/4)						
	中間考査4・6年(10/8～10/11)						
	10	鑑賞：オペラを聴こう	○ オペラ「カルメン」 ・ フランス語のオペラの魅力や歌手の表現の工夫	○		◎	
	器楽：篠笛に挑戦	○ 「ほたるこい」、「さくら」 ・ 基本的な奏法の確認	◎	◎	○		
	11	鑑賞：日本音楽の歴史を知ろう	○ 武満徹「ノヴェンバー・ステップス」 ・ 日本音楽の特徴と発展、和楽器の伝承	○		◎	
12	期末考査(11/27～12/3)						
	歌唱：日本歌曲を歌おう	○ 「この道」 ・ 日本語の美しい響き、鼻濁音について	◎	◎	○		
冬季	冬季休業日(12/21～1/7)						
三 学 期	1	創作：iPadで作曲活動をしよう	○ オリジナル着信音の作曲 ・ 音を加えたり、リズムや拍子、調などの要素を変えたメロディーづくり	◎	○	○	<p>評価方法</p> <p>学習の状況は、「知識・理解」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体物には、おもに「出席」「授業態度・取組方」「実技テスト(歌唱・器楽)」「提出物(創作・鑑賞)」「小テスト(知識・理解)」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。</p>
		器楽：篠笛に挑戦2	○ 「お囃子」 ・ リズムの工夫と応用的な奏法の工夫	◎	◎	○	
	学年末考査4・5年(2/21～2/28)						
3	歌唱：ヴォイスアンサンブルを楽しもう	○ ヴォイスパーカッション「サザエさん」 ・ パート練習及び全体練習 ・ 発音の仕方とドラム特有の音質の表現	◎	◎	○	備考	

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	6 年	類型	文科系	単位数	2 単位
----	----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	------

教科書名	MOUSA2	出版社名	教育芸術社
------	--------	------	-------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	○ 1年間の音楽活動の概要	○	◎	○	授業の概要 音楽Ⅰまでで学んだ基礎・基本的な内容を踏まえた応用的な内容になります。歌唱は難易度の高い楽曲に取り組み、器楽では自由な編成でのアンサンブルやギター演奏を、鑑賞では近・現代音楽といわれるジャンルの音楽を学習します。また、創作領域として、簡単な編曲にも挑戦します。
		歌唱:呼吸法と発声法	○「Alleluja」「SUN」「歩いて帰ろう」「ハナミズキ」 ・ 基礎的な歌唱技能の確認				
	5	器楽:ギター1	○「糸」 ・ コードの確認と弾き歌い				
		中間考査(5/14～5/17)	○交響曲41番ハ長調K.551ジュピターから第4楽章 ・ モーツァルトの作品分析				
	6	鑑賞:交響曲	○「雨に唄えば」 ・ 物語の考察と役者の表現力				
		鑑賞:ミュージカル1	○「雨に唄えば」 ・ 物語の考察と役者の表現力				
	7	期末考査(6/26～7/2)					
夏 季	8	歌唱:ドイツ歌曲	○ ドイツ歌曲「春への憧れ」 ・ 正しいドイツ詞唱と曲想に応じた表現				
		夏季休業日(7/20～8/25)					
	9	器楽:ギター2	○「愛のロマンス」 ・ 新しいコードの確認と弾き歌い				
二 学 期	9	創作:メロディーの雰囲気を変化させよう	○「Amazing Grace」で変奏曲をつくらう				
		中間考査5年(10/1～10/4)					
	10	中間考査4・6年(10/8～10/11)					
	11	鑑賞:歌唱:オペラに親しもう	○「トゥーランドット」 ・ オペラ、作曲家プッチーニ、物語のあらすじについて理解 ・ 音楽の要素や曲の特徴を把握し、自らの言葉で表現 ・ アリア「誰も寝てはならぬ」歌唱(イタリア語の確認)				
		歌唱:日本歌曲	○「からたちの花」 ・ 情景を思い出し、日本語を大切にした歌唱				
12	期末考査(11/27～12/3)						
冬 季	12	鑑賞:ミュージカル2	○「グレートショーマン」 ・ 物語の考察と役者の表現力				
		冬季休業日(12/21～1/7)					
三 学 期	1	器楽:ギター3	○「天体観測」 ・ 新しいコードの確認と弾き歌い				
		歌唱:合唱	○「瑠璃色の地球」 ・ 混声合唱の響きを感じ取り、各声部の役割を知る 家庭学習				
	2						
3							
備 考							

シ ラ バ ス

令和6年度

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	美術	学年	2	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術2・3上下 学びの実感と広がり・学びの探求と未来	出版社名	日本文教出版
------	----------------------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	オリエンテーション	生活の中に生きる美術 ○遠近法で立体的に描く			◎	授業の概要 2年生では遠近法や誇張や単純化の学習を通して、1年生で学んだ学習をさらに深く、絵画や立体のより高い表現を体得していきます。あこがれや夢を表現したり、楽しく効果的な表現をめざし、表現の楽しさを感じ取っていきます。
		視線の冒険	・透視図法(一点透視図法、二点透視図法)の仕組み ・校内の透視図法になる場所を探して写真に撮ろう ・写真をトレースしよう ・下描きの完成	◎		○	
	5	中間考査(5/14～5/15)	・水彩画の復習	◎		○	
			・着色	◎		○	
			・着色	◎		○	
	6		・仕上げ	◎	○		
			・完成	◎			
7	期末考査3年(6/26～7/2) 期末考査2年(6/27～7/2)	○ポスター制作 ・テーマを決める、深める。	◎		◎		
	豊かなイメージで伝えよう(デザイン)	・アイデアスケッチ ・コピー(文案)レタリング、レイアウト、下描き	◎		◎		
夏季	8	夏季休業日(7/20～8/25)				学習の到達目標 ・透視図法を使って簡単な立体の表現ができる。 ・ポスターの基礎・基本を理解し、制作に応用できる。 ・粘土による作品作りを通して、素材による幅広い表現ができる。 ・アイデアを楽しく効果的に表現するための方法を理解し、活用できる。	
	9	ポスター鑑賞	・相互鑑賞			◎	
日本の美意識(彫刻)		○日本の伝統技術を知ろう ・和菓子のデザイン・和菓子のデザイン			◎		
自然の形や材料を生かして 食の場を彩ろう		・季節感のある形や色彩を知る。 ・日本の伝統色 ・アイデアスケッチ ・アイデアスケッチ	○	◎	○		
二学期	10	中間考査(10/10～10/11)	・粘土制作①	◎		○	
			・粘土制作②	◎		○	
	11		・粘土制作③	◎		○	
			・粘土制作④ ・粘土制作⑤ ・粘土制作⑥ ・完成	◎		◎	
12	期末考査3年(11/27～12/3) 期末考査2年(11/28～12/3)	・相互鑑賞	◎		◎		
	作品鑑賞	○美術がつなぐ人と文化 ・冬休みの課題説明	◎		○		
冬季	12	冬季休業日(12/21～1/7)				主体的に学習に取り組む態度 【発表】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見直しを持って創造的に表現する表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
三学期	1	心でとらえたイメージ(絵画、デザイン)	○自分との対話 ・自分のイメージ ・イメージの具現化 ・モダンテクニックの実践			○	
			・イメージの具現化			◎	
	2		・コラージュ	○		◎	
		学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査2年(2/25～2/28)	・配色・着色の工夫	◎		◎	
3	時代の流れの中で変化するデザイン(鑑賞)	・仕上げ ・完成	◎		○		
	1年間のまとめ	・相互鑑賞 ・まとめ	◎		◎		
							評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
							備考

シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(前期課程用)

教科	美術	学年	3	年	時間数	35	時間
----	----	----	---	---	-----	----	----

教科書名	美術2・3上下 学びの実感と広がり・学びの探求と未来	出版社名	日本文教出版
------	----------------------------	------	--------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一学期	4	オリエンテーション	・社会に広がる美術			◎	授業の概要 3年生では、2年生までの学習を踏まえて、それぞれの課題に自己のテーマを設定し、主体的に制作活動をしていきます。表現能力や技能をさらに高め、より良い作品を追求しながら、芸術の喜びを味わいます。 学習の到達目標 ・自分の表現したい意図が見る側にしっかり伝わるように粘り強く制作に取り組むことができる。 ・自分の個性を感性豊かに表現すると同時に、友だちの作品の深みを読み取ることができる。 ・ポスターの意味をしっかりと理解し、高いレベルで制作できる。 ・人間にとって芸術とは何なのか、を自分の問題として考えることができる。
		魅力伝えるパッケージ	・パッケージデザインに関心を持って、ティッシュボックスのデザインを考える	◎		○	
		暮らしを心地よくするインテリア (理想のお菓子パッケージ)	・アイデアスケッチ	○	◎		
			・下描き①	◎		○	
	5	中間考査(5/14～5/15)	・着色①	◎			
			・着色②	◎			
			・着色③	◎			
6		・着色④	◎				
		・着色⑤	◎				
		・完成	◎		○		
7	期末考査3年(6/26～7/2) 期末考査2年(6/27～7/2)	・相互鑑賞	◎		◎		
	問題意識を形に(デザイン) (社会の問題を美術を通してとらえよう)	○ポスター制作の基礎(テーマ選択) ・テーマを決める、深める。 ・構成美の要素		◎	◎		
夏季	8	夏季休業日(7/20～8/25)					
二学期	9	夏休みの課題ポスター鑑賞	・鑑賞発表			◎	評価の観点 知識・技能 【知】形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 【技】材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。 思考・判断・表現 【発】自己の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 【鑑】造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
		日本の美意識	・屏風絵等日本の伝統絵画の鑑賞①		○	◎	
		自然の形や材料を生かして (点描技法を用いて)	・屏風絵等日本の伝統絵画の鑑賞② ・和柄や紋のデザインから学ぶ		○	◎	
			・アイデアスケッチ①		◎		
	10	中間考査(10/10～10/11)	・下描き①	◎		○	
			・下描き②	◎		○	
			・着色①	◎			
11		・着色②	◎				
		・着色③	◎				
		・着色④	◎				
		・完成	◎		◎		
12	期末考査3年(11/27～12/3) 期末考査2年(11/28～12/3)	・相互鑑賞	◎		◎		
	さまざまなアートに触れよう	・鑑賞	○				
	日本や世界の文化遺産	・文化遺産についての鑑賞	○				
冬季		冬季休業日(12/21～1/7)					
三学期	1	石を彫る(デザイン・工芸)	○篆刻	○		○	評価方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」、「定期考査」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。
		(自然とのつながりから生まれた造形)	・陽刻と陰刻について ・芸術作品としての印	○		○	
			・アイデアスケッチ	○		○	
	2		・彫る①		◎		
			・彫る②		◎		
		・彫る③	◎		○		
		・完成	◎		◎		
		学年末考査3年(2/21～2/28) 学年末考査2年(2/25～2/28)	・完成	◎		◎	
		日本美術の展開と世界との交流(鑑賞)	・完成(2学期制作の屏風にも押印)	◎		○	
		3年間のまとめ	○巻末資料を基にDVD鑑賞 ・美術との向き合い方	○		○	
				○		○	
				○		○	
				○		○	
				○		○	

令和6年度
シ ラ バ ス

愛媛県立宇和島南中等教育学校(後期課程用)

教科	芸術	科目	美術 I	学年	4 年	類型	共通	単位数	2	単位
----	----	----	------	----	-----	----	----	-----	---	----

教科書名	美術1	出版社名	光村図書
------	-----	------	------

学期	月	指導計画		評価の観点			授業の概要・学習の到達目標・評価の観点等
		単元	内容	知	思	主	
一 学 期	4	オリエンテーション	美術Iについて	○			授業の概要 「美術I」では、美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
		ピクトグラム制作(デザイン)	○ピクトグラムとは ・運動部の部室のピクトグラム化 ・鑑賞・アイデアスケッチ ・下描き1・2 ・下描き3・4	○	○	○	
	5	中間考査(5/14~5/17)	・着彩1・2 ・着彩3・4 ・着彩5・6	○	○	○	
		作品鑑賞 ポスター制作(デザイン)	・仕上げ ・相互鑑賞・人気投票 ○ポスター制作の基本	○		○	
	6	期末考査(6/26~7/2)	・テーマ決定 ・アイデアスケッチ1 ・アイデアスケッチ2・3 ・下描き1 ・下描き2	○	○	○	
		夏季休業日(7/20~8/25)					
	二 学 期	9	ポスターの鑑賞	・相互鑑賞			
油彩画に親しむ(絵画)			○油彩による有名な絵画作品を用いた自画像の制作 ・自分の写真撮影	○		○	
10		デジタルアート入門	・フォトショップによるデジタル加工作業1・2 ・フォトショップによるデジタル加工作業3・4	○		○	
		中間考査5年(10/1~10/4)	・下描き1・2	○	○	○	
11		中間考査4・6年(10/8~10/11)	・下描き3・4	○	○	○	
		水性油絵の具の特性、下描きと地塗り	・下塗り1・2 ・下塗り3・4	○	○	○	
		明暗の表現(補色混合)	・油彩での着色1・2	○		○	
		油彩の塗り方	・油彩での着色3・4	○		○	
12		陰影の塗り方	・油彩での着色5・6	○		○	
		細部の描き込み	・油彩での着色7・8	○		○	
12		期末考査(11/27~12/3)	・仕上げ	○		○	
		鑑賞	・鑑賞 ・映像鑑賞	○		○	
冬季	冬季休業日(12/21~1/7)						
三 学 期	1	切り絵制作(デザイン・彫刻)	・切り絵の基本的な特徴 ・アイデアスケッチ1 ・アイデアスケッチ2 ・原案完成 ・黒画用紙のカッティング1・2			○	評価の方法 学習の状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価を行う。具体的には、おもに「出席」、「授業態度・取り組み方、アイデア(下描き)」、「作品」、「鑑賞(自己評価等)」により評価を行う。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定を行う。
		カッティング1・2	○		○		
	2	カッティング3・4	○		○		
		カッティング5・6	○		○		
	3	学年末考査4・5年(2/21~2/28)	・カッティング7・8 ・仕上げ(バランスを見て制作)	○		○	
3	鑑賞	・仕上げ(色画用紙に貼り、額にはめる)	○		○		
	時を越える創造(鑑賞)	・相互鑑賞 ・一年間を振り返って	○		○		

